



第4回 ワークショップテーマ

『「これまで」と「これから」を振り返る』
～ワークショップの振り返りと報告～

一般の部
高校生の部

概要

日時：2021年10月31日(日)
(一般の部:13:30~15:30、高校生の部:9:30~15:30)
場所：マイタウン白河 地下大会議室
参加者：12名(一般の部5名+高校生の部7名)



市民会館跡地に整備する複合施設について、市民の意見やアイデアを基本設計にいかすため、前回に続き第4回複合施設市民ワークショップを開催しました。今回のワークショップでは、第1回から第3回までの意見整理とまとめ、高校生ワークショップでの『ペルソナ分析』を基に具体的な施設の提案・発表を行いました。

一般の部+高校生の部 内容

一般の部と高校生の部の参加者による意見交換

複合施設に必要な機能について、大人と高校生が一体となって意見を出し合いました。

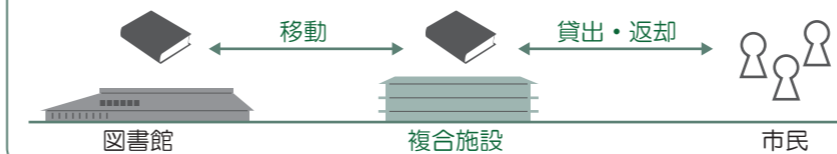
情報発信について 白い壁+広場 →掲示・展示・プロジェクトマップ等 cf. 原子力災害伝承館 壁を利用したミニシアター等 街中でないエリアでも使いやすい、施設の情報が届くように		子育てについて おむつ替えができる場所を多めに ベビーチェア 扉の手のかかるところにかかない 妊婦さんが集まる居場所がほしい カフェに個室のような場所がほしい 予約なしで話せるママ達の居場所がほしい 赤ちゃんやベビーカー、荷物をかけるようなスペースがあるトイレ 子どもと持参したお弁当を食べられる場所がほしい 「買わなきゃ」とならないように、カフェとフリースペースは離れて配置	
市民交流について 施設内で買い物ができる場所がほしい(学校帰りなど) 無理やりな交流ではなく、訪れた先で自然な交流ができる施設 昼だけではなく、夜も利用できる施設		子ども達の遊び場について 0歳~未就学児まで対応できる遊び場 cf. スカイピア あだたらアクティパーク cf. 北上 hokko 子どもの遊び場は昇り降りできるものだとなんか面白いそう	
その他 3層吹き抜けにして、その周りにスロープがあるとよい 市役所との連絡通路は椅子などを設置して、ちょっと休める場所にしたい 市役所の利用者が複合施設を通って帰りたいような施設にしてほしい 若い人を取り込める施設づくり 1階のガラス張りを鏡としてダンスの練習ができるようにしたい 大きな空間でも一人になれるスペースがほしいハンモック型の椅子など 半屋外空間、各階にテラス、屋上庭園・農園			

一般の部まとめ：各機能同士の複合化を考える

第1回から第3回までのワークショップでの市民の意見を整理し、まとめを行いました。

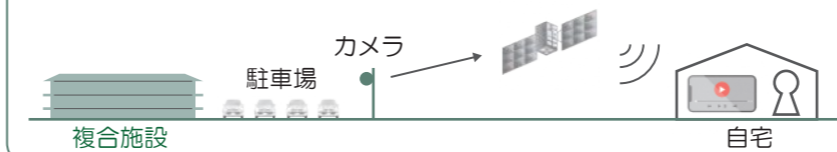
【各公共施設の連携のしかた】

例) 図書館で借りたい本をネット予約しておくで新施設で受け取り・調べられるシステムを構築する
→サテライト図書貸出システム構築と空間づくりなど(好きな時、好きな場所で借りられる施設の一つとして)



【各公共施設の問題点の解決方法】

- ①施設に行くまでの手段が少ない、限られている(特に学生)
→レンタサイクル、自動運転バスなど、新たなモビリティの導入、路線バスの本数を増やすなど
→モビリティが増えることで新たな地域資源の発見に繋がる
- ②駐車場が不足している(事前に施設の状況を確認したい)
→招き灯や駐車場の空き状況がリアルタイムで閲覧できると効率的
→施設の利用状況がWEBカメラで確認できるなど
→デジタルサイネージなどによる、施設利用や催しものの案内など



【求める施設空間・デザインについて】

それぞれの機能が複合化されることにより、機能同士が化学反応を起こし、市民が誇りを持てるような施設空間にする。

防災対策 × 生涯学習 配信設備の充実したスタジオ ⇒通常：個人的な配信活動 ⇒災害時：防災FMに利用できる	生涯学習 × 官民連携 × 交流 ついで気分が寄れる気軽なカフェ、くつろげるカフェ、学生でも安価に利用可能なカフェ、SNS映えするカフェ、DIY工芸室と飲食連携：食べながらDIYや話し声が気にならないカフェ
健康増進 × 子育て支援 大人と子どもと一緒に体を動かして遊べる遊具のある空間	市民支援 × 子育て × 官民 あらゆる相談のワン・ストップ化、個別相談などのプライバシーの確保
健康増進 × 生涯学習 健康診断からヨガやダンスなど健康指導をスムーズに行える空間	官民連携 × 交流 インフォメーションコーナーや物産店舗、チャレンジショップなど
健康 × 生涯 × 防災 × 官民 調理室を使用したイベントや災害時の対応や朝市や夜市ができる空間	

高校生の部まとめ：ペルソナ分析による新施設の提案

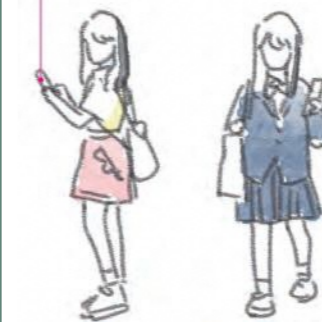
第2回高校生ワークショップでの『未来に完成する公共施設を使う「わたしたちが幸せにしたい人」を具体的にイメージしたペルソナ分析』を基に具体的な施設の提案・発表を行いました。

A班 わたしたちが作りたい未来のタイトル 【日常+非日常】～屋上で泊まれて星を見て～



- 屋上×フォトスポット
星が綺麗な白河だからこそできる、星空鑑賞
- 恋愛成就の神社 プランコなどの遊具
- ヨガボークッションを置いてくつろげる
- 農園
コミュニティ農園をつくり、収穫した野菜を使ってカレー作り
- ベンチを「かまどベンチ」に(防災機能にも)
- キャンプイベント
シーズンごとに定期的にイベントを開催
- 泊まる×防災×生涯学習×将来の進路
大人との関わりが、高校生にとって職業を知るきっかけになり、将来の進路選択にもつながる。

いつでも SNS



B班 わたしたちが作りたい未来のタイトル #自分がしたいことを自由に実現!! 制限のない自由/遊べる自由/行く理由がたくさんある/多目的



- 勉強できる場所
あたたかみのある電球
- 長時間座っても疲れない/眠くならない椅子
- 景色が見える窓/テラス/気分転換できるハンモック
- 眠くなったときに走れるランニングマシン
- 文房具・iPad/教科書・テキストの貸し出し
- 勉強したいときに、気軽に行けるミニ図書館
- 人の目が感じられるガラス張り(見る・見られる空間でモチベーションアップ)



愛用のタブレット

- ストレス発散/気分転換
普段できないこと・やったことのないことができる場所(爆食・ものを壊す・大声で歌う・ちらかす)